

V. 特記事項

本学では、建学の理念、大学の目的、大学院の趣旨それぞれにある「社会に有為な人材の養成」、「応用能力をもつ人格を陶冶」、「文化の進展に寄与」を具現化するため、地域を基盤にした特色ある優れた研究成果を共有し、教員の資質向上と学生教育への還元を推進し、地域社会や学生のニーズ応えられるよう、他の高等教育機関や自治体、企業等との交流・連携協力にも力を入れている。

1. 国際交流の推進

本学園は、29カ国(地域)96の教育機関並びに2施設と教育交流協定を締結しており、「世界に通用する視野の広い人材を育てる」という方針のもと、世界各国の教育機関等と提携して交流ネットワークを構築している。長期休暇を利用して協定校を訪問する「フィンドレー大学奨学留学プログラム」や「ハワイ大学ヒロ校留学プログラム」等を実施している。また、薬学部動物生命薬科学科の学生を対象とした「フィリピン国立大学ロスバニョス校(UPLB)留学プログラム」(令和5(2023)年まで実施)では、本学卒業後にUPLB獣医学部へ編入学することで獣医師国家試験受験資格取得を可能とし、現在までに13人の学生が日本の獣医師免許を取得している。その他の国際交流として、米国フィンドレー大学との薬学科学術的交流プログラムによる教員派遣や学生の受け入れ、並びに、タイ王国モンクット王工科大学からの医療技術研修生の受け入れなどを積極的に行っている。

2. 小中学生への理系(医療系)進路選択支援

文部科学省においても女子中高生の理工系分野に対する興味や関心を高め、理系進路へ進むことを志すための取組みを支援しているが、本学園でも地域に根ざした大学として、地域に親しまれる大学を目指しており、本学では小中学生の頃から本学に慣れ親しんで貰うことで、理系(医療系)への進路選択の幅が広がるように独自の取組を行っている。令和2(2020)年からは地元の野口遵顕彰会に協力し「ジュニア科学スクール」を開催し、中学生に向けて実験の楽しさを通じて理系(医療系)への興味や職業意識の喚起を図っている。令和3(2021)年からは延岡市に協力し「キッズニア in 延岡」に参画すると共に、令和4(2022)年からは本学独自でも「小学生お仕事体験プログラム」を開催することで小学生に向けた理系(医療系)への興味や職業意識の喚起を図っている。

3. 他大学や他研究機関との教育・研究成果の共有

本学園では、学園全体での学問水準の向上や研究意欲の向上、若手研究者の養成を目的として、平成16(2004)年度から平成30(2018)年度までは「順正学園学術交流コンファレンス」、中断期間を経て令和3(2021)年度からは「順正学園学術研究交流会」として各設置校それぞれの特色ある創造的・先駆的研究の相互発表を行っている。

本学独自の他大学・他機関との連携の取組としては、令和7(2025)年3月より「高等教育コンソーシアム宮崎」が大学等連携推進法人の認可を受けたことで、これまで以上に各大学との人的・物的リソースの効果的共有及び教育研究機能の強化を進めている。更に企業等も含めた産官学の取組みとして「宮崎県産業イノベーションプラットフォーム」にも参画し、宮崎県北部地域を中心とした産業創出、地域振興にも協力している。